

令和5年度広島県立総合技術研究所
利用者アンケート調査（令和4年度利用分）について

1 調査概要

(1) 目的

総合技術研究所（以下「総研」という。）をご利用いただいた方の満足度や経営への貢献額をお伺いし、総研の自己評価に役立てるとともに、ご要望やご意見をもとに、今後の支援サービスの内容充実や質的向上を図る。

(2) 調査対象

令和4年度に総研において、設備利用（センターの保有機器・設備）、依頼試験、技術的課題解決支援事業（ギカジ）、共同研究、受託研究の各支援メニューを利用された方（事業者、個人等）。

(3) 調査方法

対象者（696者）へ調査用紙を郵送し、広島県ホームページ又はFAXによる回答により収集した。

調査期間：令和5年5月10日～7月14日

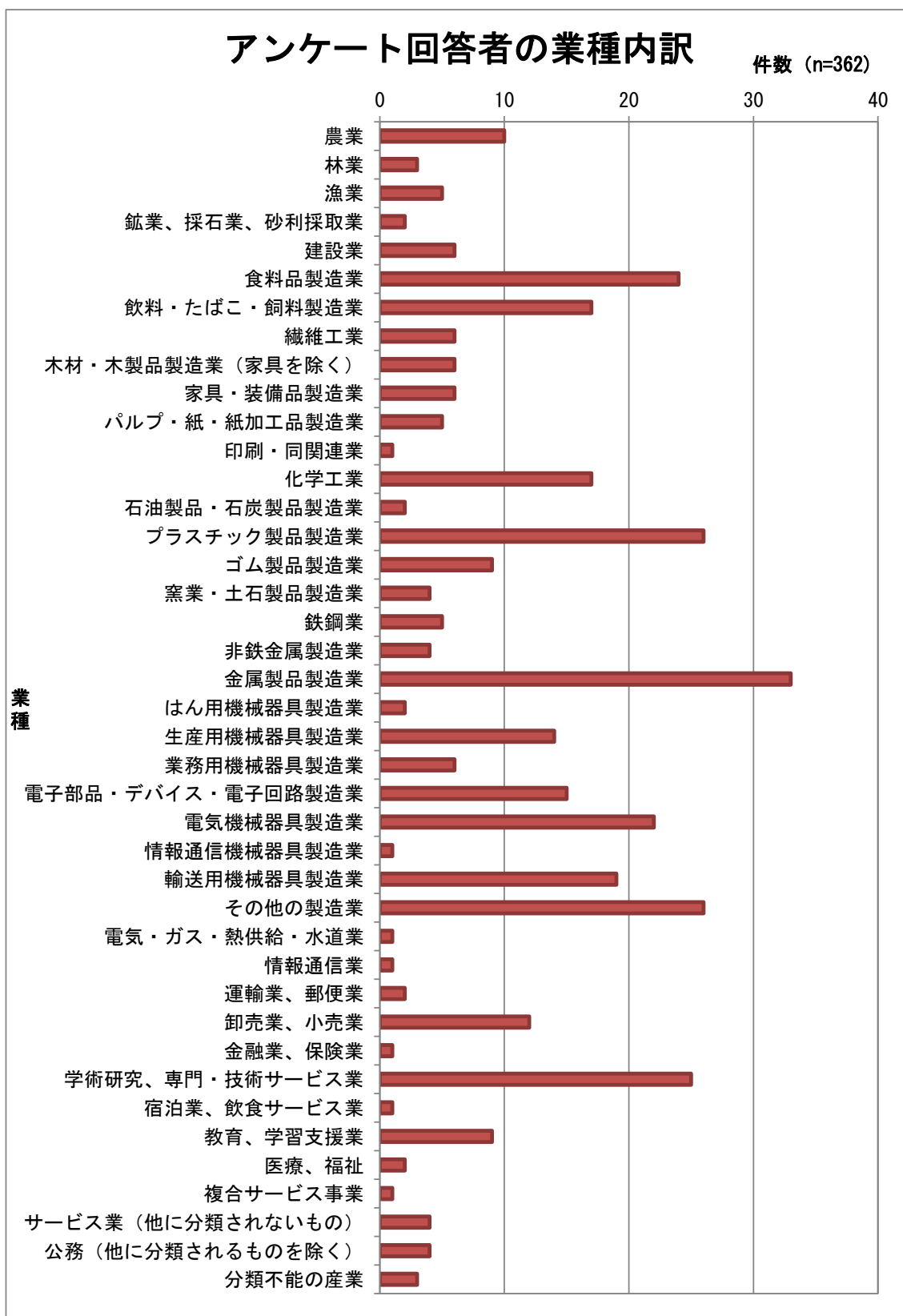
(4) 回答状況

回答者数：365者（回答率52.4%）

2 調査結果概要

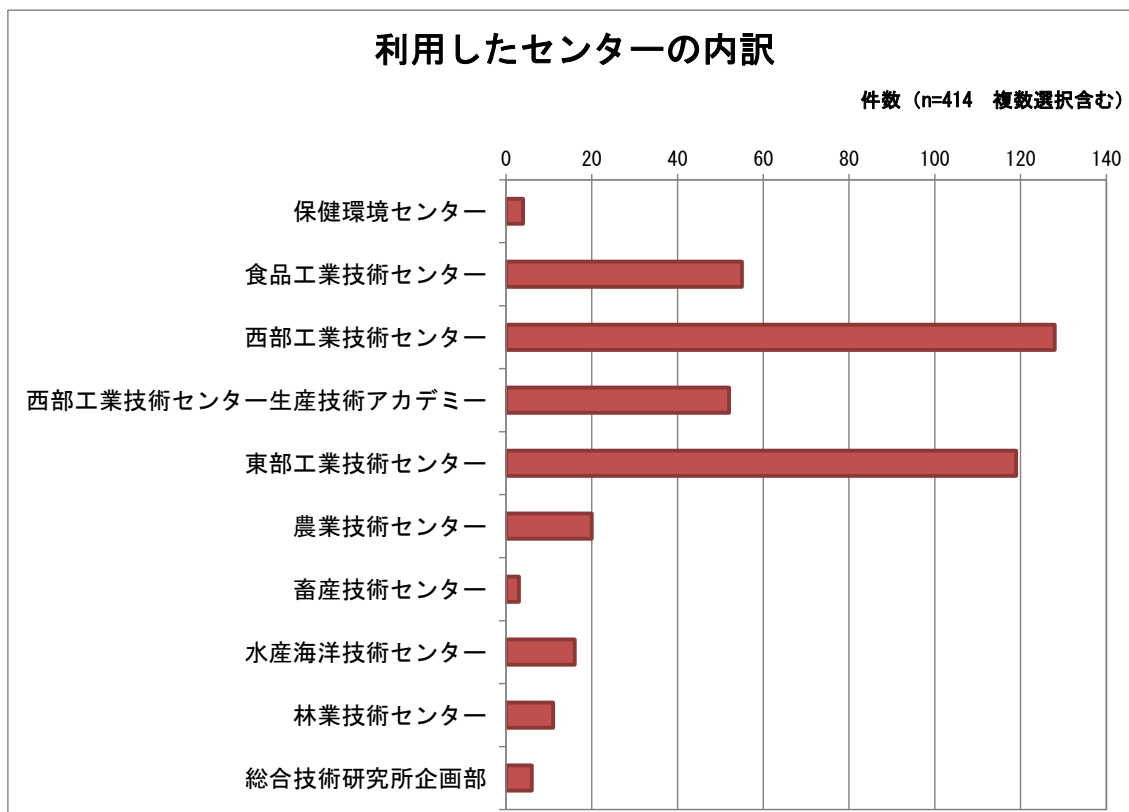
(1) 業種内訳

製造業、学術研究、専門・技術サービス業等の回答者が多い。



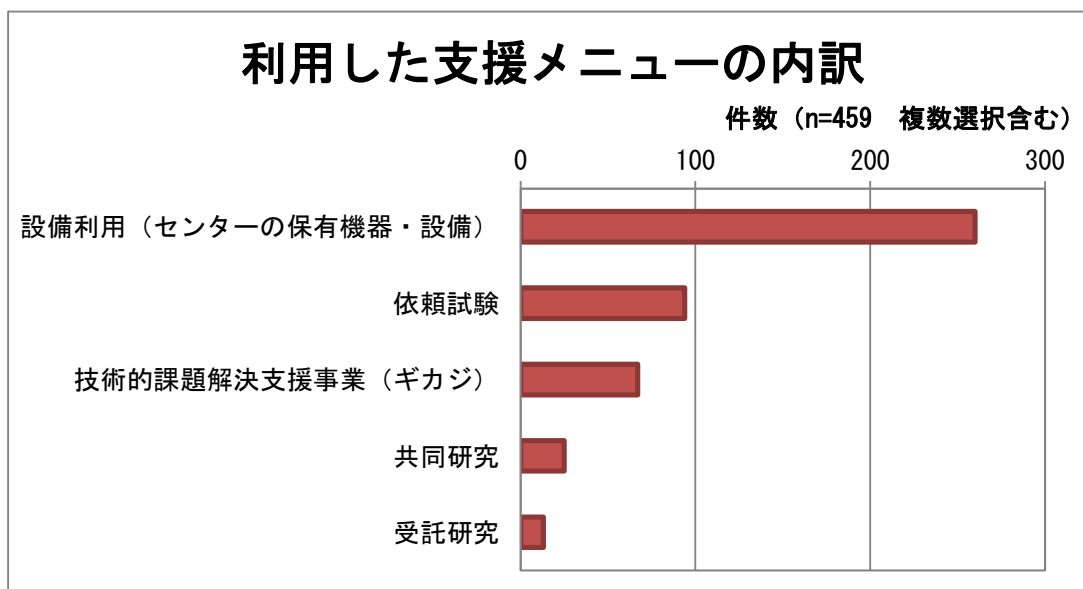
(2) 利用したセンター

全体回答数の86%が工業系センター（食品工業技術センター、西部工業技術センター、東部工業技術センター）となっている。



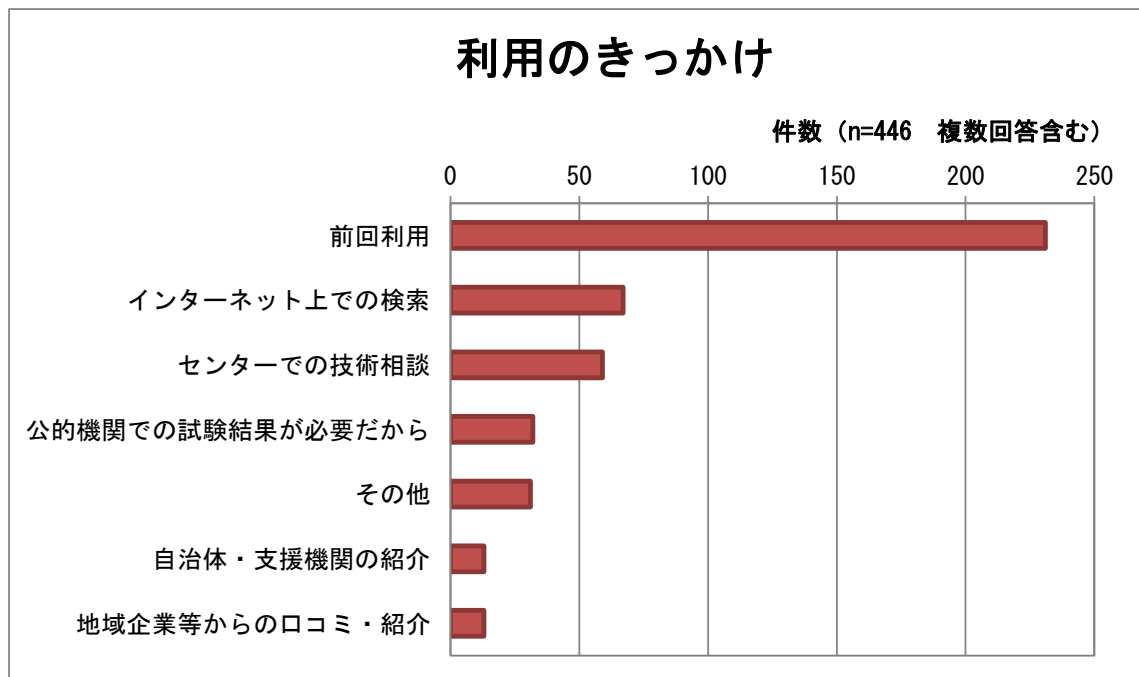
(3) 利用した支援メニュー

設備利用、依頼試験の回答が多い。



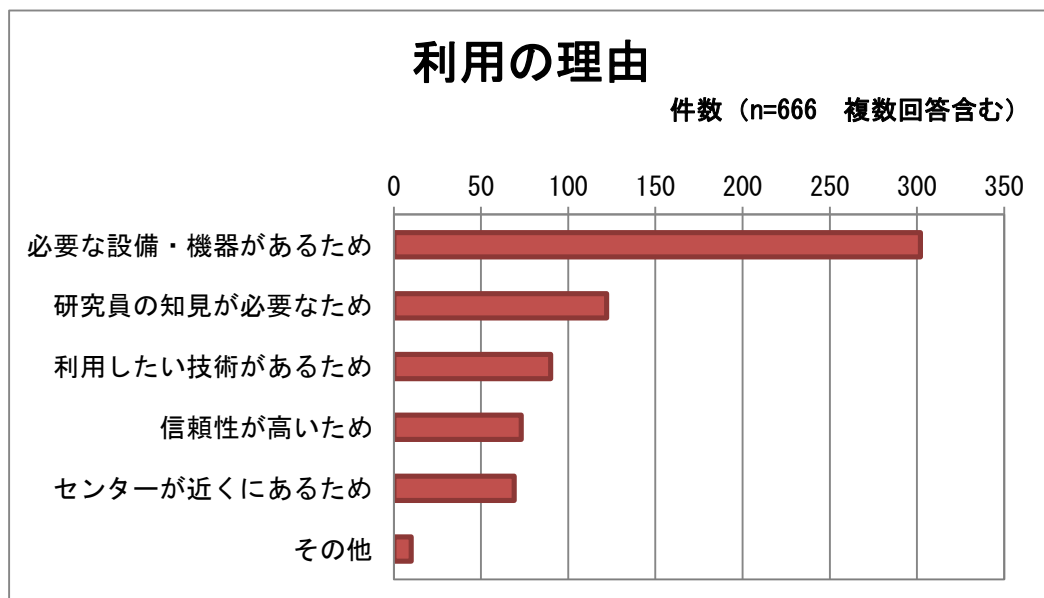
(4) 利用のきっかけ

前回利用したことによるリピートのほか、インターネット上での検索がきっかけとなっている。



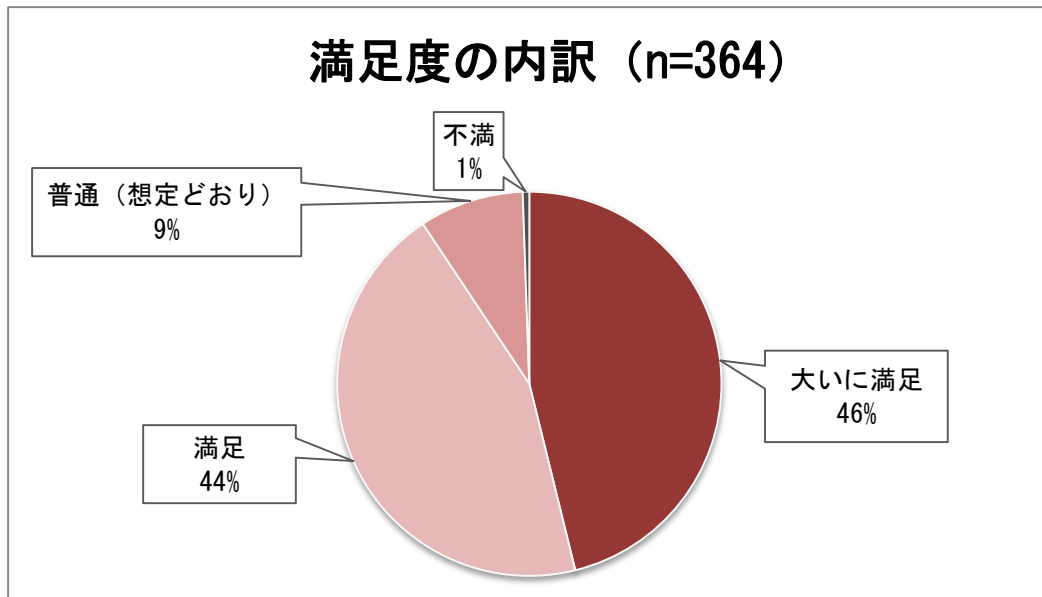
(5) 利用の理由

設備、技術、研究員の知見があることが、主な利用の理由となっている。



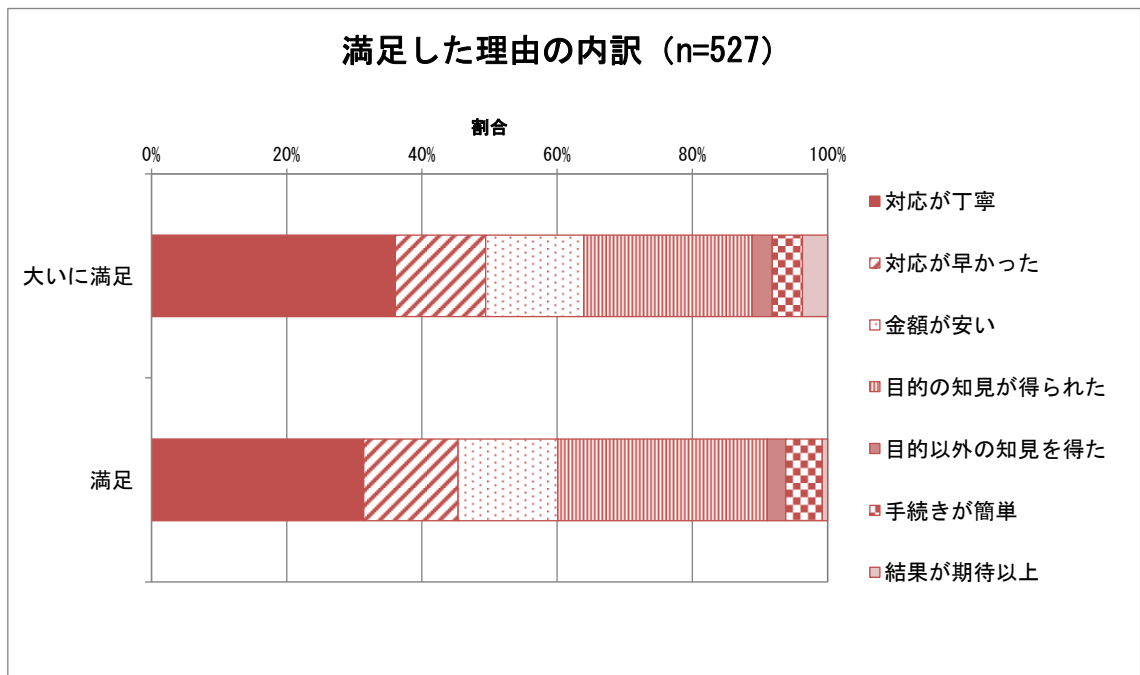
(6) 満足度

全体回答数の約 90%が大いに満足又は満足と回答している。



(7) 満足した理由

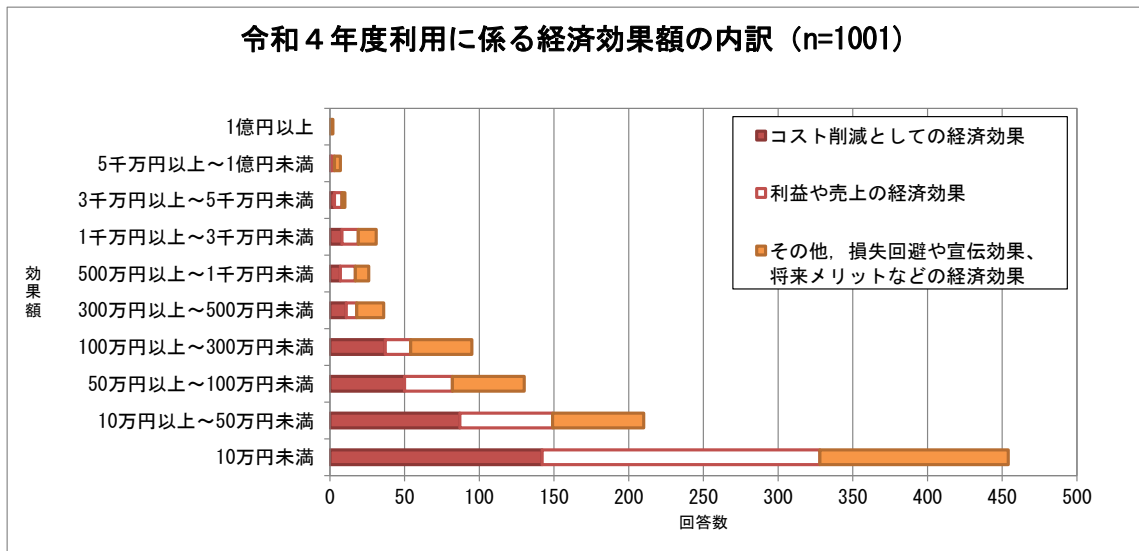
「対応が丁寧」、「目的の知見が得られた」という割合が多くなっている。



(8) 支援効果額

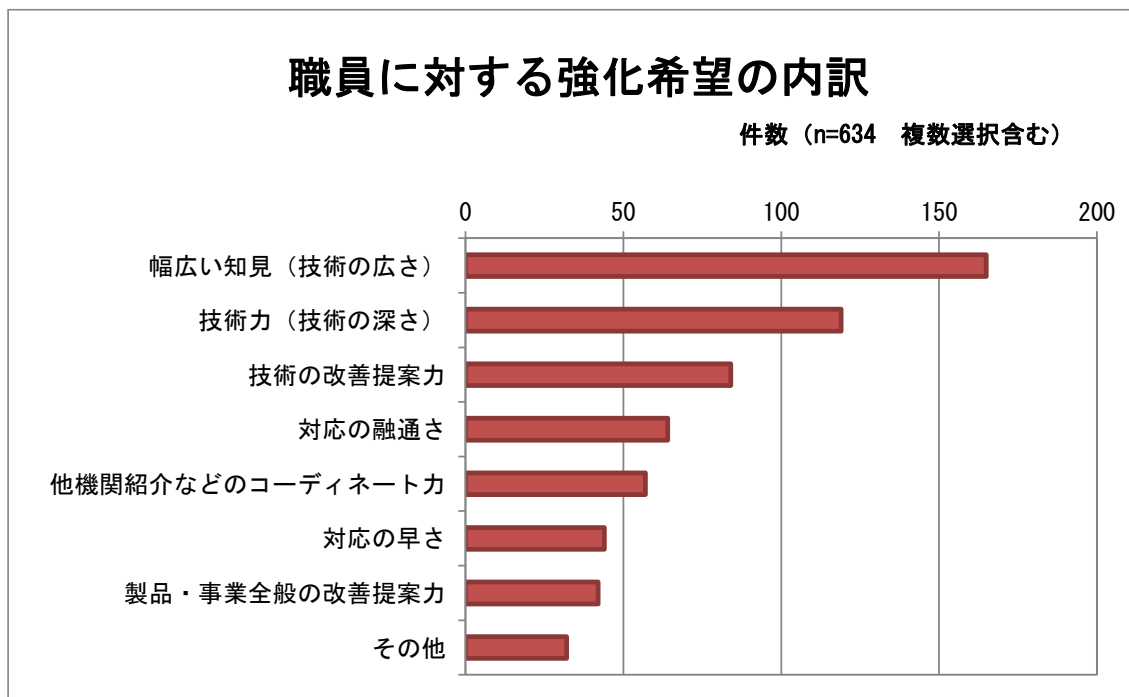
1者当たりの支援効果額は、約7,011千円/者となっている。

経済効果の金額	コスト削減としての経済効果	利益や売上の経済効果	その他、損失回避や宣伝効果、将来メリットなどの経済効果	回答数	1回答当たりの効果金額（中間値）（千円）	経済効果換算額（千円）
10万円未満	142	186	126	454	50	22,700
10万円以上～50万円未満	87	62	61	210	250	52,500
50万円以上～100万円未満	50	32	48	130	750	97,500
100万円以上～300万円未満	37	17	41	95	2,000	190,000
300万円以上～500万円未満	11	7	18	36	4,000	144,000
500万円以上～1千万円未満	7	10	9	26	7,500	195,000
1千万円以上～3千万円未満	8	11	12	31	20,000	620,000
3千万円以上～5千万円未満	3	5	2	10	40,000	400,000
5千万円以上～1億円未満	1	2	4	7	75,000	525,000
1億円以上	0	0	2	2	100,000	200,000
回答数 小計	346	332	323			
経済効果換算額（千円）	591,850	755,800	1,099,050		経済効果換算額（千円）	2,446,700
					1者当たりの経済効果額（千円）	7,011



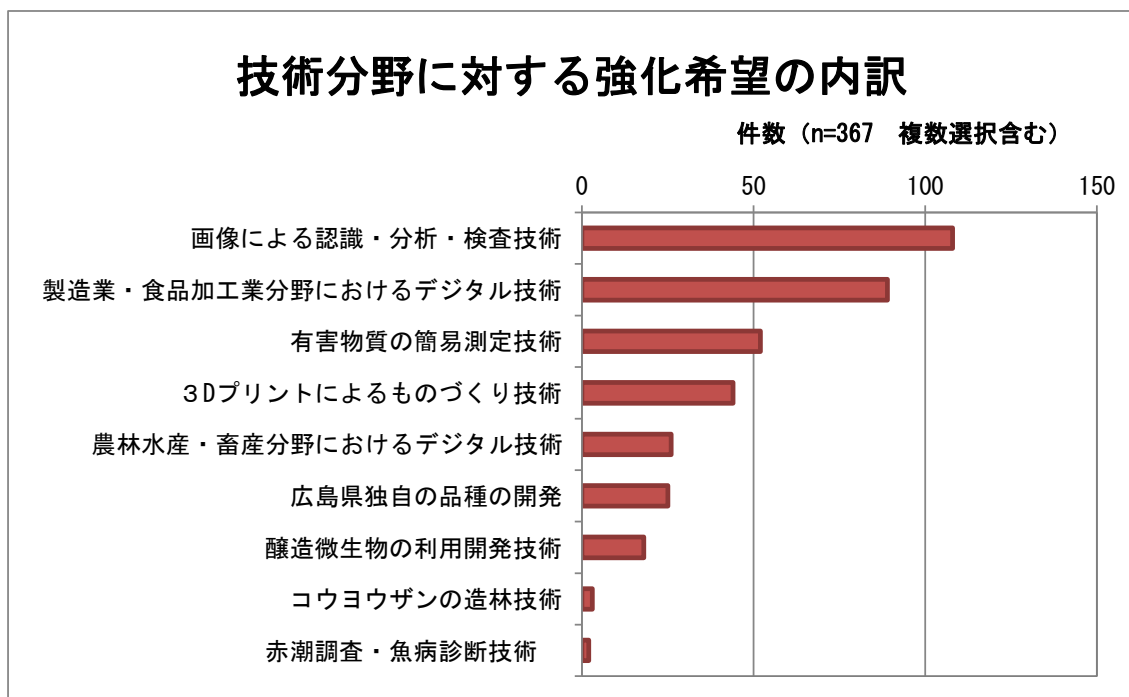
(9) 職員への強化希望

総研の職員に対しては「幅広い知見（技術の広さ）」や「技術力（技術の深さ）」が求められている。



(10) 技術分野への強化希望

総研の技術分野への強化希望は、「画像による認識・分析・検査技術」や「製造業・食品加工業分野におけるデジタル技術」が多くなっている。



(11) その他意見（回答内容は案）

※対応してほしい点、改善してほしい点、よかった点など

ア 感謝等に関するもの（抜粋）

- いつもご丁寧に対応いただきありがとうございます。設備の予約確認等で融通いただき助かります。
- いつも丁寧なご対応と専門的知見でのご教示いただき感謝いたしております。
- 色々な内容にご対応頂き、自社ではできない研究が進められていると思います。今後も技術支援をお願いしたいと思います。
- 分析の時に分析方法代案を提案して頂いたので助かりました。
- ギカジについて、比較的気軽に相談できて、具体的なコメントや提案を頂ける環境と雰囲気は非常に有難く、貴重な機会であると思います。
- 現場試験の提案やサポートが充実しており良かった。

イ 改善などの要望（抜粋）

- ギカジのレポート発行までの処理時間が異常に掛かります。
 - ギカジのレポートは、発行のご意向を確認したうえで、技術支援料の納付を確認してから発行することとしております。納入通知書による支払の場合、納入通知書の発行から納付の確認までに時間を要しますので、お急ぎの場合は、現金による技術支援料の納付をご検討ください。
- 各種支払を銀行などの振込にして欲しい。
- ペイジー支払い可能かつ領収書発行して頂けると助かります。
- 費用の請求を月毎に請求書発行で処理して欲しい。
- 利用料等に関して、利用後に銀行振込できるようにしてほしいです。
- 現金やペイジー以外の支払い方法を検討いただきたい。
 - 総研の技術支援メニューは、原則前払となっており、銀行振込や請求書払いには対応しておりません。
令和4年10月から、電子申請システムを利用することで pay-easy（ペイジー）により、使用料及び手数料が支払えるようになりました。今後クレジットカード及びQRコード決済等に対応する予定ですので、必要に応じて支払方法をご選択ください。
- 設備・機器の利用については、HPから予約できる仕組みを導入してほしい。
- 設備の利用状況から利用だけでなく別の理由で使用できない場合も空き無しの表示を行ってほしい
- 設備利用状況や予約状況がホームページで判るようにしてもらいたい。

→ 令和4年10月から、西部工業技術センター及び東部工業技術センターが保有する一部の機器を対象として、ホームページ上で予約状況が確認できるようになりました。なお、実際の予約については研究員の対応が不可欠なものもありますので、引き続きお電話や電子メールにて各センターへご連絡ください。

○試験機設備の更新

→ 各センターでは利用者の方のニーズをもとに、利用頻度、利用価値の高い機器について計画的に整備していくこととしています。整備計画の参考にいたしますので、ご利用の際に研究員等にお伝えください。

○技術・研究窓口の拡充、設備・機械の具体的な用途や方法の周知

○設備の活用方法をもっとホームページ上で詳しくみられる（動画等）ようになれば良いと思います。

→ 令和5年2月に総合技術研究所の YouTube チャンネルを開設いたしました。今後は、動画を活用した情報発信を進めてまいります。

○対応する研究員の人材育成、各分野での研究について

→ 1つの技術分野に複数の職員が対応できるよう、人材育成に努めてまいります。

R5年度広島県立総合技術研究所 ご利用アンケート調査（R4年度利用分）

県のHP上で、便利に回答することができます（右リンク先）
利用者が複数名おられる場合は利用者ごとにご回答ください。
（FAXの場合、お手数ですが、コピーしてお使いください）



Q1 貴社名（貴名）を記入してください（必須）

例）〇〇株式会社〇〇事業所

Q2 業種を選択してください。（必須、1つ選択）

※日本標準産業分類の区分を表記しています。

- 農業 林業 漁業
- 鉱業、採石業、砂利採取業 建設業 食料品製造業
- 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業（家具を除く）
- 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業、 印刷・同関連業
- 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業
- ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業
- 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業
- はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業
- 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業
- 輸送用機械器具製造業 その他の製造業 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業 運輸業、郵便業 卸売業、小売業
- 金融業、保険業 不動産業、物品賃貸業 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業 生活関連サービス業、娯楽業 教育、学習支援業
- 医療、福祉 複合サービス事業 サービス業（他に分類されないもの）
- 公務（他に分類されるものを除く） 分類不能の産業

Q3 昨年度ご利用のセンターを選択してください。（必須、複数選択可）

- 保健環境センター 食品工業技術センター 西部工業技術センター（生産技術アカデミー含まず）
- 西部工業技術センター生産技術アカデミー 東部工業技術センター 農業技術センター
- 畜産技術センター 水産海洋技術センター 林業技術センター 総合技術研究所企画部

Q4 昨年度ご利用の支援メニューを入力してください。（必須、複数選択可）

- 設備利用（センターの保有機器・設備） 依頼試験 技術的課題解決支援事業（ギカジ）
- 共同研究 受託研究

Q5 ご利用のきっかけは何ですか。(複数選択可)

- 前回利用 インターネット上での検索 センターでの技術相談
 自治体・支援機関の紹介 地域企業等からの口コミ・紹介
 公的機関での試験結果が必要だから その他

Q6 ご利用の理由は何ですか。(複数選択可)

- 必要な設備・機器があるため 利用したい技術があるため 研究員の知見が必要なため
 センターが近くにあるため 信頼性が高いため その他

Q7 センターの支援メニューをご利用の結果、満足度はいかがですか。(必須、1つ選択)

- 大いに満足 満足 普通(想定どおり)
 不満 大いに不満

Q8 Q7で満足(不満足)とした理由をお教えてください。(2つ選択)

- 対応が丁寧(不十分) 対応が早かった(遅かった) 金額が安い(高い)
 目的の知見が得られた(得られなかった) 目的以外の知見を得た(得られなかった)
 手続きが簡単(煩雑) 結果が期待以上(期待未満)

Q9 支援メニューを申請してからレポートや測定が終わるまでに要した時間を選択してください。

- 1~3時間 1日 2~3日
 1週間程度 2~3週間 数か月程度
 半年 1年 1年以上

Q10 昨年度、総研を利用したことによる貴社(貴方)の経済効果についてお答えください。

コスト削減としての貢献額をお教えてください。(1つ選択)

例1) 装置使用や依頼試験により、自社で試験を実施する場合に比べて設備投資費や人件費を○万円削減することができた。

例2) 民間の専門分析機関や研究機関へ対応相談や試験依頼をした場合と比べ、○○万円の経費削減につながった。

例3) 技術的な知見を習得することができ、自社の人材育成に関する経費を○○円圧縮できた。

- 10万円未満 10万円以上~50万円未満 50万円以上~100万円未満
 100万円以上~300万円未満 300万円以上~500万円未満 500万円以上~1千万円未満
 1千万円以上~3千万円未満 3千万円以上~5千万円未満 5千万円以上~1億円未満
 1億円以上

Q11 Q10で1億円以上を選択した場合、およその金額を入力してください。(数値入力:単位 億円)

億円

Q12 利益や売上の増加について、貢献額をお教えてください。(1つ選択)

例1) 品質の維持・向上のための課題解決により、売上高が〇〇万円向上した。

例2) 依頼試験や、委託研究により製品開発に貢献し、〇〇万円の売上高に貢献した。

10万円未満 10万円以上～50万円未満 50万円以上～100万円未満

100万円以上～300万円未満 300万円以上～500万円未満 500万円以上～1千万円未満

1千万円以上～3千万円未満 3千万円以上～5千万円未満 5千万円以上～1億円未満

1億円以上

Q13 Q12で1億円以上を選択した場合、およその金額を入力してください。(数値入力:単位 億円)

億円

Q14 その他、損失回避や宣伝効果、将来メリットなど貢献額をお教えてください。(1つ選択)

例1) 不具合などの原因究明に対応でき、将来的な損失を〇〇万円回避できた。

例2) 製品の評価や品質管理の結果、試験結果を宣伝できたため、〇〇万円の貢献があった。

例3) 研究開発・製品化・事業実施の判断に役立てることができ、研究開発費として〇〇万円の価値がある。

10万円未満 10万円以上～50万円未満 50万円以上～100万円未満

100万円以上～300万円未満 300万円以上～500万円未満 500万円以上～1千万円未満

1千万円以上～3千万円未満 3千万円以上～5千万円未満 5千万円以上～1億円未満

1億円以上

Q15 Q14で1億円以上を選択した場合、およその金額を入力してください。(数値入力:単位 億円)

億円

Q16 総研の職員に対して、特に強化してほしい部分は何ですか。(2つ選択)

対応の丁寧さ 対応の早さ 対応の融通さ

幅広い知見(技術の広さ) 技術力(技術の深さ) 他機関紹介などのコーディネート力

技術の改善提案力 製品・事業全般の改善提案力 その他

Q17 今後のセンターのご利用に当たり、以下のなかで強化してほしい技術分野があれば選択してください。(複数選択可)

- 有害物質の簡易測定技術 醸造微生物の利用開発技術 製造業・食品加工業分野におけるデジタル技術
- 農林水産・畜産分野におけるデジタル技術 画像による認識・分析・検査技術
- 3D プリントによるものづくり技術 広島県独自の品種の開発 赤潮調査・魚病診断技術
- コウヨウザンの造林技術 特になし

Q18 食品工業技術センター、西部工業技術センター、西部工業技術センター生産技術アカデミー、東部工業技術センターの設備利用又は依頼試験をご利用いただいた方は Q18～Q20 にもお答えください。それ以外の方は Q21 にお進みください。

ペイジーでの支払いが可能なことをご存じですか。

- 知っている 知らない

Q19 知っているとお答えの方にお聞きします。ペイジーでの支払いを利用されましたか。

- 利用した 利用していない

Q20 利用しなかった理由は何ですか。

- 現金支払いでいいから ペイジーが使えないから ペイジーは領収証が出ないから その他

Q21 センターへ、その他ご意見があればお教えてください。(自由記入)

※対応してほしい点、改善してほしい点、よかった点など

Q22 回答者の所属、お名前を記入してください。(必須)

Q23 次回からメールでのアンケート送付を希望される方は、メールアドレスをご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。集計結果は夏ごろホームページにて公開する予定です。